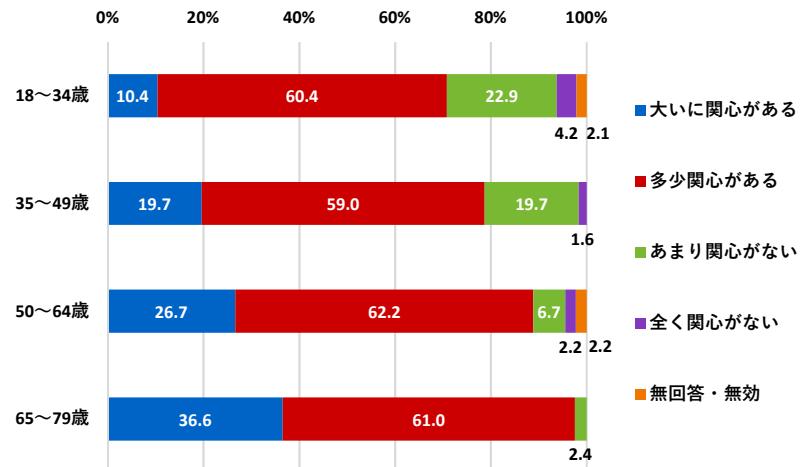
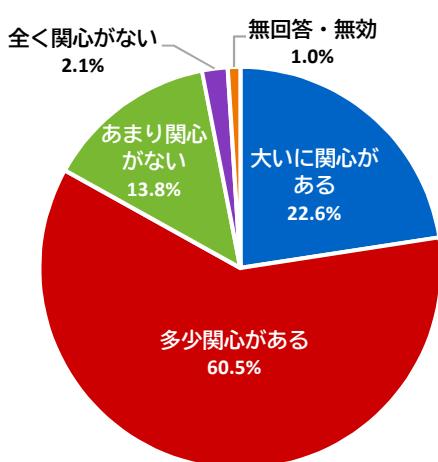


3 家庭ごみ減量・資源化の取り組みについて

(環境部 一般廃棄物対策課)

■ 問1 家庭ごみの減量と資源化を推進する取り組みについて 関心があるか

(n = 195)

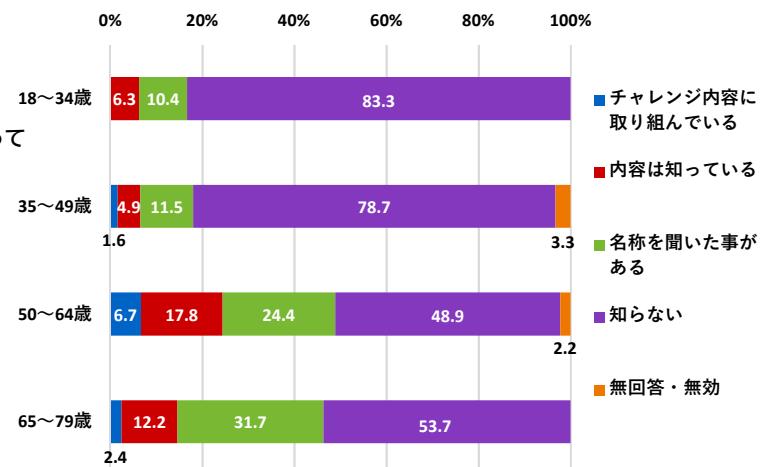
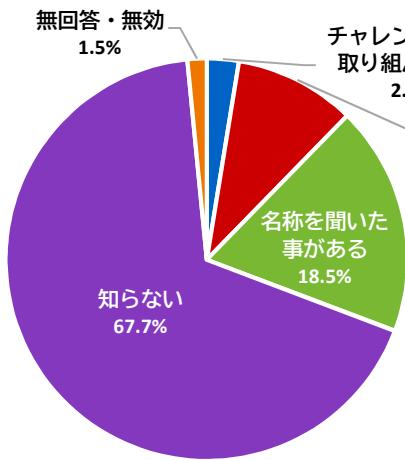


- 家庭ごみの減量と資源化を推進する取り組みについての関心は、「多少関心がある」が最も多く60.5%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「多少関心がある」が最も多くなっています。

■ 問2 家庭ごみの減量を目指して取り組んでいる『Go！みんなで404チャレンジ』を知っているか

(n = 195)

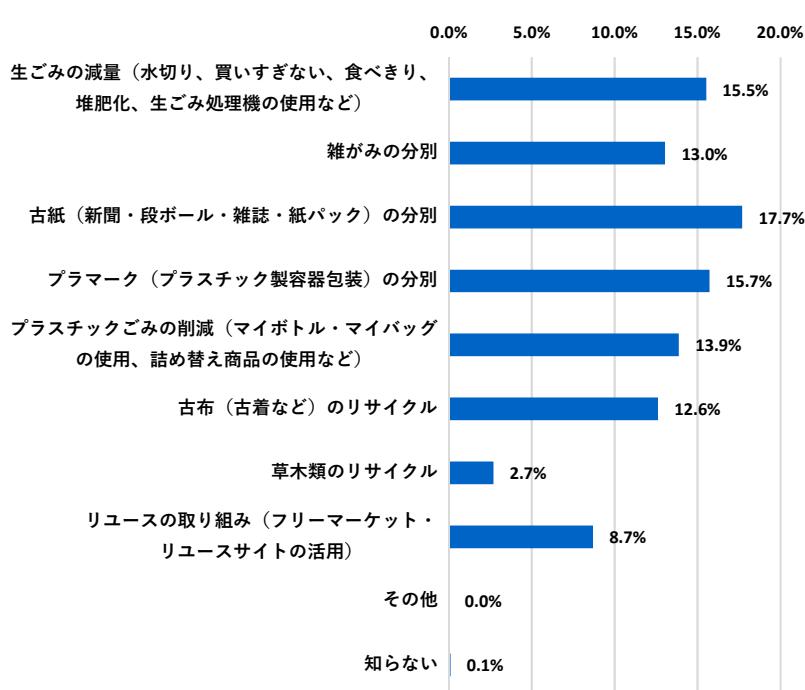
※404チャレンジとは、令和10年までに一人1日あたりの家庭用ごみ排出量を404gまで減らそうという取り組み。



- 家庭ごみの減量を目指して取り組んでいる『Go！みんなで404チャレンジ』について、「知らない」が67.7%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「知らない」が最も多くなっています。

■ 問3 知っている家庭ごみの減量・資源化の方法はなにか

(n = 195 複数回答)



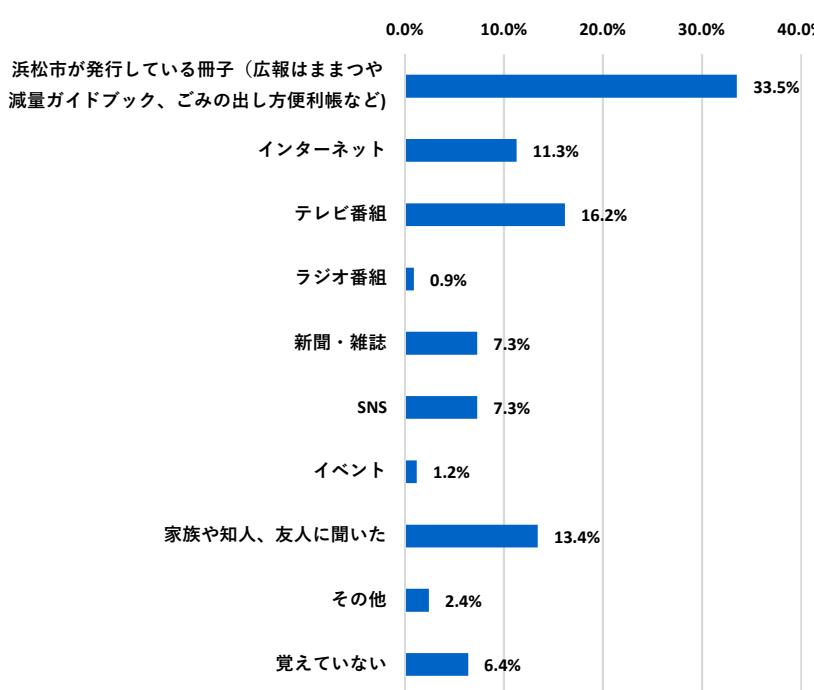
	18~34歳	35~49歳	50~64歳	65~79歳
生ごみの減量 (水切り、買はずぎない、食べきり、堆肥化、生ごみ処理機の使用など)	13.2%	16.4%	15.1%	17.4%
雑がみの分別	13.7%	12.4%	13.9%	12.1%
古紙 (新聞・段ボール・雑誌・紙パック) の分別	19.2%	16.8%	17.0%	18.4%
プラマーク (プラスチック製容器包装) の分別	17.4%	15.1%	14.7%	16.3%
プラスチックごみの削減 (マイボトル・マイバッグの使用、詰め替え商品の使用など)	13.2%	14.4%	13.5%	14.2%
古布 (古着など) のリサイクル	12.3%	12.4%	12.7%	13.2%
草木類のリサイクル	1.8%	2.3%	2.3%	4.7%
リユースの取り組み (フリーマーケット・リユースサイトの活用)	9.1%	9.7%	10.8%	3.7%
その他	—	—	—	—
知らない	—	0.3%	—	—

- 知っている家庭ごみの減量・資源化の方法はなにかについて、「古紙 (新聞・段ボール・雑誌・紙パック) の分別」が17.7%、次いで「プラマーク (プラスチック製容器包装) の分別」が15.7%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「古紙 (新聞・段ボール・雑誌・紙パック) の分別」が最も多くなっています。

■ 問4 家庭ごみの減量・資源化の方法をどのように知ったか

(n=194)

(問3で「1~9」と回答された方)

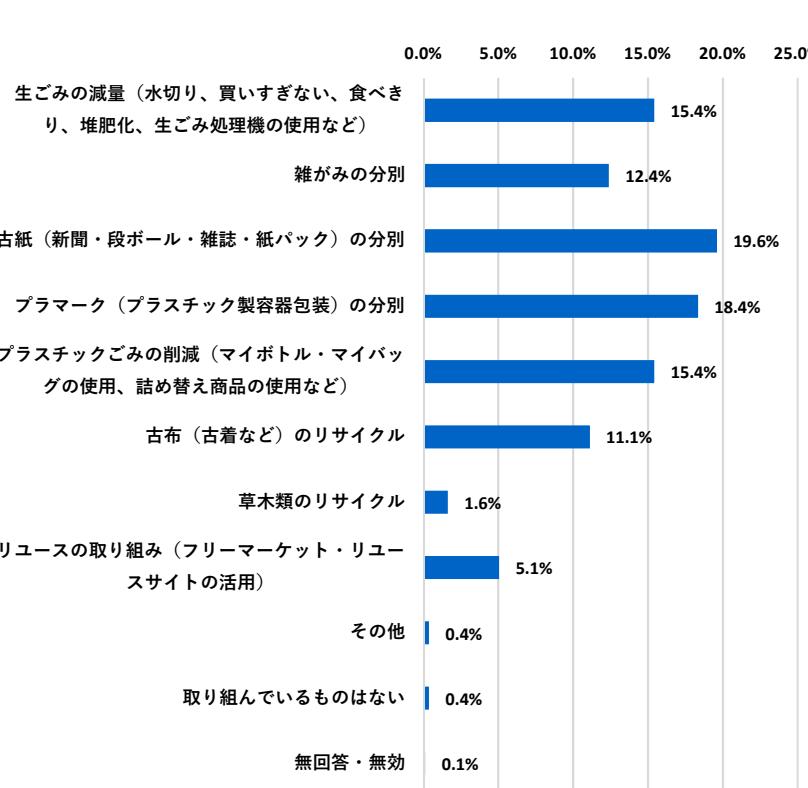


	18~34歳	35~49歳	50~64歳	65~79歳
浜松市が発行している冊子（広報はまつや減量ガイドブック、ごみの出し方便利帳など）	17.1%	31.6%	41.5%	44.0%
インターネット	17.1%	10.5%	13.4%	4.0%
テレビ番組	18.4%	13.7%	17.1%	16.0%
ラジオ番組	—	1.1%	2.4%	—
新聞・雑誌	1.3%	3.2%	7.3%	18.7%
SNS	14.5%	7.4%	7.3%	—
イベント	—	1.1%	—	4.0%
家族や知人、友人に聞いた	17.1%	17.9%	7.3%	10.7%
その他	5.3%	3.2%	1.2%	—
覚えていない	9.2%	10.5%	2.4%	2.7%

- 家庭ごみの減量・資源化の方法をどのように知ったかについて、「浜松市が発行している冊子（広報はまつや減量ガイドブック、ごみの出し方便利帳など）」が33.5%となっています。
- 世代別にみると、18~34歳では「テレビ番組」が、他の世代では「浜松市が発行している冊子（広報はまつや減量ガイドブック、ごみの出し方便利帳など）」が最も多くなっています。

■ 問5 取り組んでいる、家庭ごみの減量・資源化の方法はなにか

(n=195 複数回答)

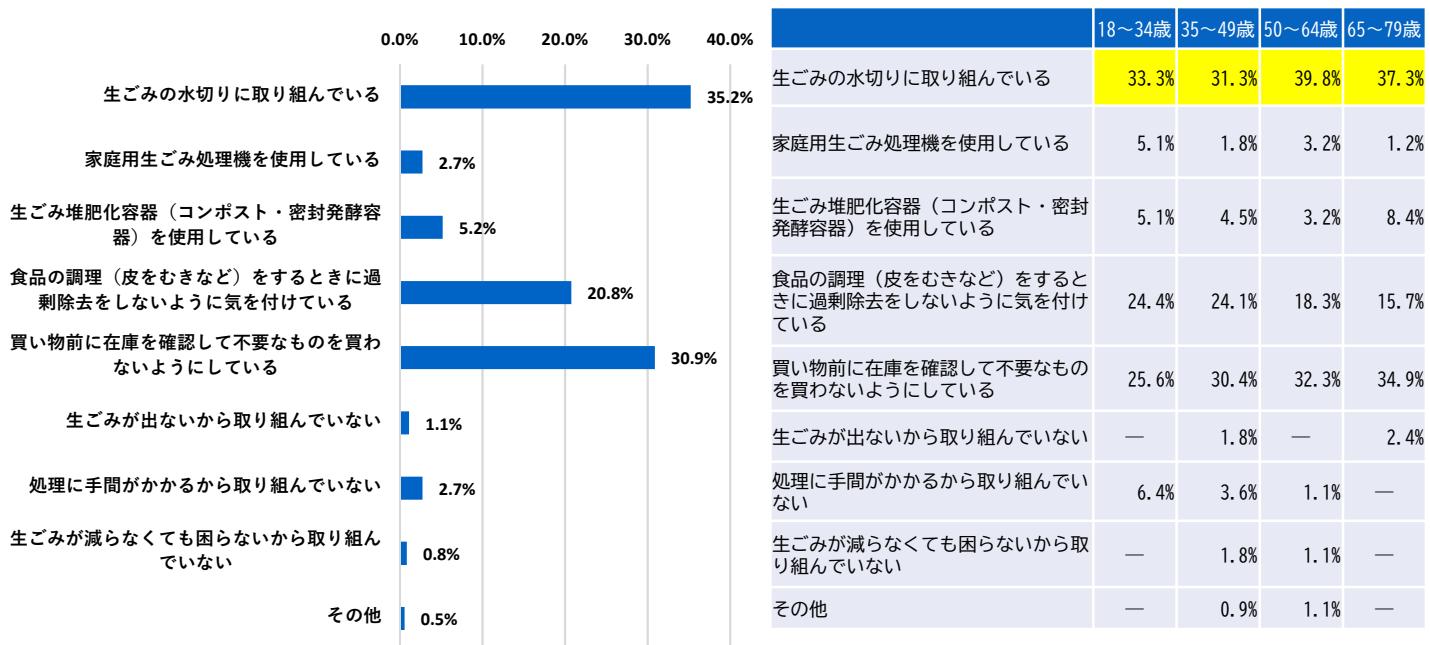


	18～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳
生ごみの減量 (水切り、買いすぎない、食べきり、堆肥化、生ごみ処理機の使用など)	16.8%	14.3%	13.1%	18.7%
雑がみの分別	11.4%	10.9%	15.9%	11.1%
古紙 (新聞・段ボール・雑誌・紙パック) の分別	20.4%	19.3%	20.1%	18.7%
マーク (プラスチック製容器包装) の分別	18.0%	20.2%	16.8%	18.1%
プラスチックごみの削減 (マイボトル・マイバッグの使用、詰め替え商品の使用など)	14.4%	15.1%	16.4%	15.8%
古布 (古着など) のリサイクル	9.0%	12.2%	11.2%	11.7%
草木類のリサイクル	1.2%	1.3%	0.9%	3.5%
リユースの取り組み (フリーマーケット・リユースサイトの活用)	7.2%	5.9%	5.6%	1.2%
その他	0.6%	0.4%	—	0.6%
取り組んでいるものはない	1.2%	0.4%	—	—
無回答・無効	—	—	—	0.6%

- 取り組んでいる、家庭ごみの減量・資源化の方法について、「古紙 (新聞・段ボール・雑誌・紙パック) の分別」が19.6%、次いで「マーク (プラスチック製容器包装) の分別」が18.4%となっています。
- 世代別にみると、18～34歳、50～64歳では「古紙 (新聞・段ボール・雑誌・紙パック) の分別」が、35～49歳では「マーク (プラスチック製容器包装) の分別」が、65～79歳では「生ごみの減量 (水切り、買いすぎない、食べきり、堆肥化、生ごみ処理機の使用など)」と「古紙 (新聞・段ボール・雑誌・紙パック) の分別」が同率で最も多くなっています。

■ 問6 生ごみの減量について

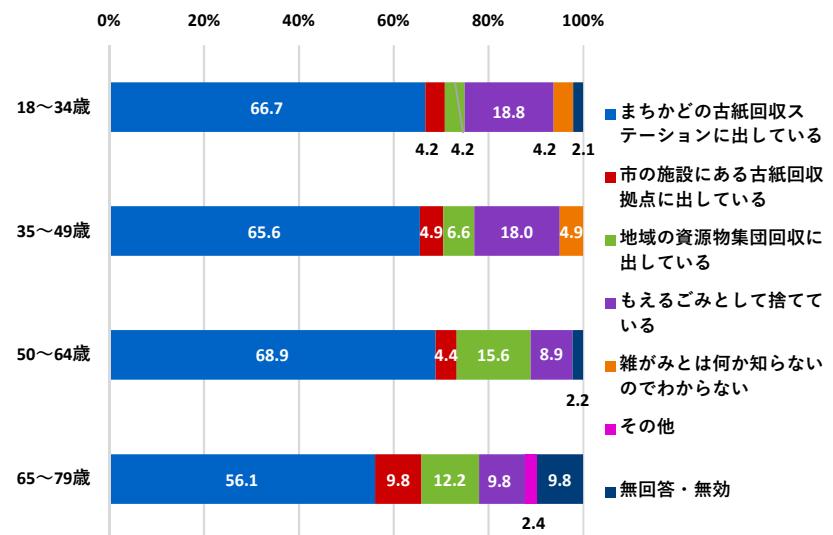
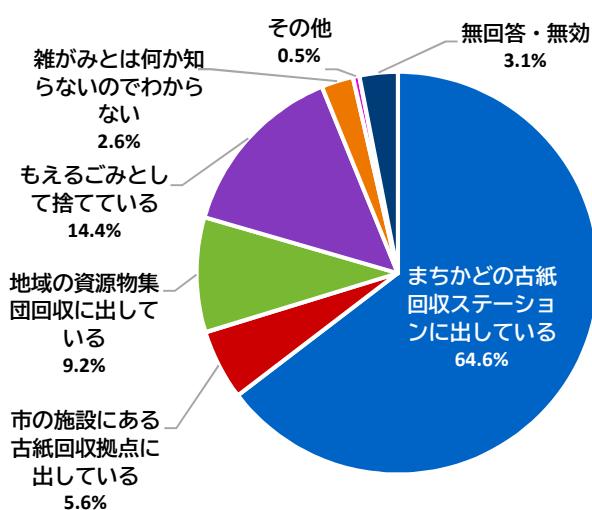
(n = 195 複数回答)



- 生ごみの減量について、「生ごみの水切りに取り組んでいる」が35.2%、次いで「買い物前に在庫を確認して不要なものを買わないようにしている」が30.9%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「生ごみの水切りに取り組んでいる」が最も多くなっています。
- その他では「ディスポーザーを使用している」「コンポストをやりたいが、マンションのため行っていない」などがあります。

■ 問7 雑がみの処分方法について最も利用している方法はなにか

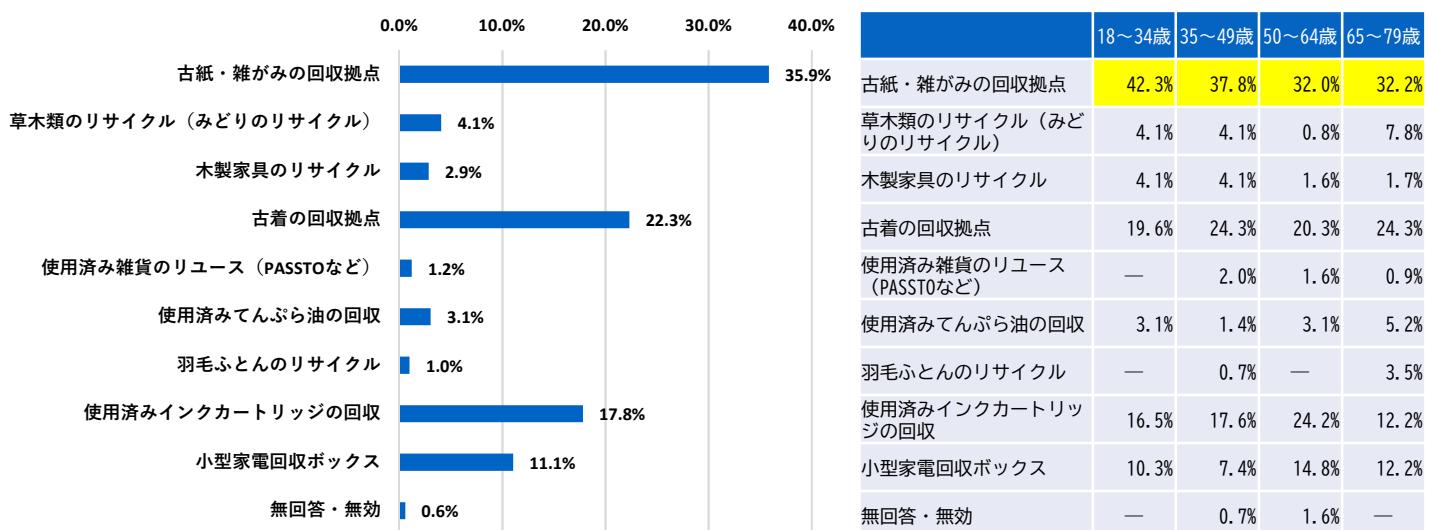
(n = 195)



- 雑がみの処分方法について最も利用している方法について、「まちかどの古紙回収ステーションに出している」が64.6%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「まちかどの古紙回収ステーションに出している」が最も多くなっています。

■ 問8 次の選択肢から利用したことがあるものはなにか

(n = 195 複数回答)



- 利用したことがあるものについて、「古紙・雑がみの回収拠点」が35.9%、次いで「古着の回収拠点」が22.3%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「古紙・雑がみの回収拠点」が最も多くなっています。